

優 秀 賞

大 切 な 水

水戸市立第四中学校

三年 木 村 郁 来

私は水が大好きです。日常で口にする飲み物と
いったらほとんどが水です。外食に行ってもドリン
クバーなんかは頼まず、水を飲みます。物心ついた
ときから、食事のそばに置いてあるコップにはいつ
も水が注がれていました。私の日常にはいつも水が
ありました。私の人生に水は不可欠です。もし、私
の人生が終わったときには、エンドロールのいちば
ん最初に水を書きたいなと思っています。

そんな風に水を愛してやまない私ですが、いつ
ものように水を飲もうと蛇口をひねったとき、ふと
思いました。この蛇口から流れてくる水が、安全な
ものだと確証をもって使えるのは誰のおかげなのだ
ろうか、と。私は今まで、家の蛇口から流れる水を

体の中に取り入れて、死の危険を感じたこともない
し、お腹をこわしたこともありません。ということ
は、もちろん誰かが安全できれいな水を作ってくれ
ているということです。その人は誰なのでしょう。か
見ず知らずの人のために、人生においてかかせない
ものである水を安全なものにして、届けてくれる
人は誰なのでしょう。浄水場できれいな水が作られ
ていることは、もちろん知っています。ですが、そ
の浄水場で働く一人一人の方々には目を向けたこと
ってないなと思いました。そこで私は思いました。
浄水場で働く方々は、もつとたたえられるべきでは
ないかと。水は人間の体のおおよそ六十パーセント
ほどを占めています。人間は水なしでは生きていけ
ません。そんな生命維持装置みたいなものを作って
いるのだから人々は今もつと浄水場およびそこで働く
人々をもつとたたえるべきだと思います。ここに書
いて浄水場に関わっている方々に届くことはないと
思いますが、感謝を述べます。いつも本当にありが
とうございます。

もし、災害時に水が使えなくなってしまうたら、

私はどうすればいいのでしょうか。水が使えないってつまり、トイレをしたら流せないし、顔も洗えないし、歯みがきもできないし、米をたくこともできないし、衣服を洗うことも、のどがかわいたとき、気軽に水を飲むこともできないってことですよね。私はこれを書き出してみても、人間の生活が思っているよりずっと水に支えられていることに気づきました。私のそばにはずっと水があったと述べましたが、それってものすごいことなんですね。世界では、水の確保するために学校にも行けていない子供がいるそうです。それをふまえて考えてみると、学校に行けて、簡単に水を手でできる私は、すごく恵まれていることが分かりました。改めて、水の大切さを実感しました。きっと、この作文を書いていなかったら、気づけないことだったと思います。水の作文を書くことを選んで良かったです。

私には将来の夢がありません。ですが、この作文を書いて、水に関わる仕事に就くのも良いなと思いました。もちろん、これから他に自分がなりたいと思う職に出会うと思います。ですが、人の人生を

支えられる「水」に関われる仕事に就けたら、すごくほこらしいと思います。